

## 今月のコラム

### 年頭所感

NPO法人ガーデンを考える会 会長  
水野 隆



昨年は東日本の大震災を始めとして、世界中で災害や政治・経済の混乱等、かつて無い程の大きな変化があった年でした。

世界の経済はヨーロッパやアメリカ等の巨大経済圏の動向のみでなく、北アフリカや北朝鮮の政治的不安定要因にも左右され、ますます混迷を深めていくかもしれません。

さて、このような状況下での新年のスタートであります。売れない売れないと嘆いていただけでは更に落ち込むだけです。確かに以前のようにモノは売れなくなった事は、様々な統計データからも明らかです。経済全体が不況だからとか、デフレだからとか、買いたいものが無くなったとか、色々な「売れない」理由が語られており、実際にそれらが複雑に絡み合っ、園芸分野だけに限っても相当な割合で落ち込んでいます。

では、本当に消費者は園芸・ガーデニングから離れているのかと言えば、政府や経済研究機関等の調査によっても、依然として高い興味や関心があることを示しています。それならば、園芸が嫌いになったわけでもないのに園芸需要の総数が伸びないのは何故でしょうか。

世界的に見ても、園芸を愛好する年代は50歳以上が圧倒的な割合を占めており、この傾向は不変のようにも思われます。それなのに、世界で最も高齢者率が高い日本で、園芸需要が低下するのは矛盾していると思えません。人々は絶対的に必要なもの、例えば食料品であれば、どんなに不便でも手に入れない訳にはいきません。しかしながら、特に不要不急のものであれば、購入するのに遠くて不便であったり、重くて持ち運びにくいのであればあるほど購買には結びつかなくなってきます。我々が関係する「園芸」は、残念ながら不要不急のカテゴリーに属し、購買の利便性を必要とされるアイテムなのです。

この数十年で、人々の生活を取り巻く環境は大きく変わり、巨大なショッピングセンターで衣食住あらゆるものを、コンビニでは24時間営業、人々は好きな時に好きなものを何でも買うことができる、とても利便性の高い世の中になってきたと言われてきました。

ところが、高齢者にとってはどうでしょう。核家族化のこともあり、必ずしも高齢者にとっては便利な世の中では無く、むしろ買い物がしにくい、高齢者の潜在的な購買の機会を小さくしてきている時代のように思えてなりません。どんな商売でも、メインの購買層に対して様々なアピールやサービスをするのが当たり前で、それによって更なる需要を作り出すことが期待出来るからです。どんな時代であっても、欲しい人々に欲しいものを提供すれば商売は成り立ちます。

この一見当たり前の事が、実は園芸・ガーデニングビジネスに圧倒的に欠け、それによって潜在的な需要を取り込むことが年々低下してきているのです。

我々「ガーデンを考える会」は、欲しい人々に欲しいものを提供できるよう、また欲しがっている潜在的な需要層に対して更なるアプローチを図れるよう、今年は様々な機会を作ってアピールしていきたいと思っています。



カエデ  
kaede

## ガーデントライアル IN ハケ岳 2012

2012年9月25～27日開催

当会では、昨年、山梨県のフィオーレ小淵沢で開催した展示商談会「ガーデントライアル IN ハケ岳 2011」の盛會を受け、2012年もフィオーレ小淵沢においてさらに規模拡大して開催することになりました。今回も(社)日本家庭園芸普及協会の後援を受け、募集は2012年1月より行っていきます。

今回の特徴としては、昨年にはなかった、業界の第一線に立つ若手、中堅が実行委員会を組織。新たな企画立案で進められます。

同時開催の「フラワートライアル ジャパン 2012 秋」(25～27日)も、昨年の好評を受け出展問い合わせが多く、規模拡大が見込まれています。

来場予定者は、ホームセンターバイヤー・ガーデンセンターバイヤー・小売店仕入担当者・造園関係者・生産者・市場関係者・マスコミ関係者・行政関係者・ベンダー・メーカーなど多数を予定しています。

ちなみに前年実績はフィオーレ小淵沢会場にはスペースいっぱい29社(うち資材関係20社)が出展し来場者1千名、またハクサングループのチバナーセリー会場でも1千名を超える来場者がありましたが、ホームセンターのバイヤーが増えたことが特徴でした。

前は、会場スペースがなくお断りしました会社もありましたが、今回は規模を拡大し更なる充実した商談会にするべく、ただ今、細部を詰めております。

ご期待ください。

詳細はガーデンを考える会事務局(052-571-7911)まで。

### 前回の会場



## 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー

### 2011年最高の花! 球根ベゴニア「フォーチュンスカーレット」

「いい花の新基準」を合言葉に、毎年、導入される花きの新品種から、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を選定する「ジャパンフラワーセレクション(JFS)」の最終審査が昨年末に行われ、フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)、ベスト・フラワー(優秀賞)、その他特別賞といった年間各賞の選定が行われ、日本フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)には、サカタのタネ出品の球根ベゴニア「フォーチュン スカーレット」が選ばれた。

[http://www.jf-selections.net/\\_result/jfs2011-2012\\_foy2011\\_1130.pdf#search='フラワーオブザイヤー2011'](http://www.jf-selections.net/_result/jfs2011-2012_foy2011_1130.pdf#search='フラワーオブザイヤー2011')





「緑と花による平和と再生へ祈り」がテーマ

ガーデニングワールドカップ・フラワーショー inナガサキ2011

「ガーデニングワールドカップ・フラワーショー inナガサキ2011」が、10月8日～11月6日まで、ハウステンボス(長崎県佐世保市)で開催された。世界のトップガーデナー16組が集結し、「緑と花による平和と再生へ祈り」をテーマに作品を制作。ショーガーデン10作品と、スモールガーデン6作品が展示された。

ショーガーデン部門・最優秀作品賞(農林水産大臣賞)受賞は「ブッシュファイヤー」。チェルシーフラワーショー2011金賞などの受賞歴を持つオーストラリアのガーデナー、ジム・フォガティ氏の作品。ブッシュファイヤーとはオーストラリアで発生する山火事のこと。この火事は自然を破壊するが、新たに植物の種が放たれるなどの再生を促し、新しい命を吹き込むという。今回のテーマを見事に表現した作品となっている。



ショーガーデン部門・最優秀作品賞受賞の「ブッシュファイヤー」 ▶

最新の植物提案に大注目!

ハルディン2012年の新企画 ミックス植え「カラーズ」

「第8回国際フラワーEXPO IFEX」で、(株)ハルディンが発表した新商品が注目を集めた。

ひときわ大きな展示で目を引いたのが、ミックス植え企画「カラーズ」。10.5寸ポットに、植え付け時から2～3色の花を混植して育てた企画で、単色苗にはない華やかさがある。混植企画はこれまででも、さまざまなメーカーから発売されているが、カラーズは部分ごとに色が分かれるのではなく、花色がランダムに入り混じるのが特長。ハルディンらしいセンスのいい色使いは、春夏の売り場で大きな目玉となりそうだ。姫小菊、ステラ、スカイティアラ、バーベナ、ペチュニア、トロピカルピンカ、夏すみれ、カリブラコアの8ラインナップ21パターンがそろそろ。



GARDEX2011 第5回国際ガーデン EXPO

生産者フェアの新設で植物関係の初出展が大幅増

花・緑化業界における見本市「第5回国際ガーデンEXPO GARDEX」など、5つの展示会が10月13～15日、千葉市の幕張メッセで開催された。今年には新たに「第1回国際道具・作業用品EXPO TOOL JAPAN」と「第1回国際農業資材EXPO AGRITECH」も併催され、ガーデニングや庭関連だけでなく、さまざまな幅広い内容となった。



フラワーバレンタインのコーナーも注目を集めた



大手種苗・園芸資材メーカーをはじめ、農工道具などガーデニング・緑化に留まらない多様な出展でにぎわう会場



カエデ  
kaede



## 新たな年に思うこと

長谷川園芸 長谷川 直哉



東日本大地震という大きな出来事があった2011年。当園のある茨城県も被災地で、私も長谷川園芸農場も被災しました。しかし、時がたつと人間の記憶も薄れてしまうもので、あの時から「母の日」までの死に物狂いの2か月は、毎日が必死過ぎてあまり覚えていないというのが正直なところでした。

ただ、「母の日」が終わり、自分の心と時間に少し余裕ができた6月に、ガーデンを考える会の活動で釜石市に被災地支援に行ってきました。そこで見た光景は、今でも忘れられません。津波の爪痕の残る港や建物、散乱した車…。車窓から見えてくるのは悲惨な現実ばかりでした。

そして、もう一つ忘れられないの被災地の明るい児童たちです。とある小学校で、子供たちと一緒に花苗や野菜苗を植えこむことになりました。みんな笑顔あふれながらコンテナに苗を植えていました。私事ですが、その当時子供が生まれたばかりで、児童たちに我が子の近い将来を重ね合わせ不思議な感動を覚えました。と同時に、この子供たちの未来のためには、私たち世代の頑張りが必要なのだと強く感じたのです。復興の原動力にならなくては行けないと。

私にできることは、「花を作ること。」そして、「花を売ること。」です。より良いものを社会に供給し、経済活動をほんの少しでも活性化させることが、まず、一番大事な役目だと思っています。もちろん、ボランティア活動も大事なことだと思います。

年末商戦の流れから見ても、2012年も花業界には厳しい状況が続くと思われます。私も、必死に食らいついていくしかありません。そんな時の底力になるのは、あの時見た光景と、あの時感じた思いです。時がたち、風化しがちな思いをふるい起こす貴重な経験です。新たな年に改めてあの時の決意を強く思う次第です。



## 会員紹介

### 株式会社 ハイポネックス ジャパン

株式会社ハイポネックス ジャパンは家庭園芸の成長とともに歩んで、おかげさまで2012年4月に創立50周年を迎えます。本当にありがとうございました。

50年の歴史を供にした微粉ハイポネックスに新たに「スティックタイプ」が仲間入りします。5g入りの一回使いきり、手を汚すことなく、大変便利になりました。

もう一つ自信をもって新活力液「リキダス」を紹介します。植物のもつ力、土のもつ地力を引き出し、肥料が発揮しきれない力を引き出すパワーをもっています。従来にない一味も二味も違う優れものです。

切花鮮度保持剤「水やり名人」も新発売します。花器の材質を選ばず仏花にも安心してご使用いただけます。

これからの50年も、皆様にご愛顧いただける商品を開発し続けます。今後ともハイポネックスを宜しくごお願い申し上げます。



株式会社ハイポネックス ジャパン  
〒532-0003  
大阪市淀川区宮原四丁目1番9号  
TEL 06-6396-1122  
URL <http://www.hyponex.co.jp>